

深澤要 ふかさわ かなめ (こけし) 研究家。明治二十七年七月、二十四日東京市下谷

區池之端七軒町生れ、昭和二十二年一月十二日歿(一九四一四七)。號古

戯子、古戯子庵(日夏秋之介命名)。大正十年大阪の泰西學館に入る

と病を獲し翌年退く。十四年大阪市より都島工業學校勤務、翌年同志と

大阪基督教青年會童話俱樂部を結成、巡回童話會を開く。昭和四年退

職し、翌年梅田新道公行人社書店を開くも病を以て幾許もなく閉店。

九年(こけし産地訪問)の始り、十二年蒐集品を以て東京古洋書館(こけし

展)を開く。十五年有坂與太郎とコケスンボ(社)のち木岡社と改稱(

を興す。

著書『コケ本屋の棚』(昭和五年十月二十日大阪・自刊)、『子供考』

(昭和六年二月一日大阪・ヤマト書房)、『こけしの微笑』(昭和十

二年刊)、『榎村餘瀟』(昭和二十二年刊)等。雑誌『こけし手帖』

十四・十五號(昭和二十二年五月十四日東京こけし友の会)は、深沢

要の(別冊附録)「深澤コレクション自録」。

